



共和国大統領後援



MINISTERO
PER I BENI E
LE ATTIVITÀ
CULTURALI

トスカーナ州
ルッカ県
ルッカ市
マッサローザ市
ミラノ市
ベスカリア市
ヴィアレージョ市

プログラム

プッチーニ・セレブレーション2008

2008年はプッチーニ年です。生誕150周年となるこの機会を活かし、文化省は、私たちの郷土の芸術・文化活動の再評価を奨励することを決定しました。これを目的として、地元の公的機関、企業、劇場、研究機関からの50を超える代表で構成されるプッチーニ・セレブレーション実行委員会が創設されました。プッチーニは、ルッカの何世代も続く音楽家の家庭に生まれ、ミラノで学を修め、その人生の大部分を過ごしたトッレ・デル・ラーゴで多くの傑作を生み出しました。また自身のオペラ作品をローマ、トリノ、ナポリ等イタリアの主要な劇場で上演し、外国でもパリ、ブエノスアイレス、ロンドン、ニューヨークで公演しました。従って彼の故郷はただの世界における小さな一角、とは成り得ません。実行委員会はまさにこの理由で、生地であり一連の記念行事の中心地となるルッカ周辺地域から、生誕150周年に向けてプッチーニの名のもとに全国を巻き込みつつ、文化・音楽イベントの総合的プログラムの企画・実現に努めているのです。展覧会・オペラ・国際会議・コンサート・出版物を通じ、イタリア全土を舞台として150回目の誕生日にプッチーニに捧げる作品である、2008年度プログラムの内容をまとめたものをどうぞご覧ください。

ブルーノ・エルモツリ

プッチーニ・セレブレーション実行委員会会長

ジャコモ・プッチーニの故郷より、生誕150周年記念行事に皆さんをお招きします。コンサート、イベント、展覧会、国際会議を通じ、プッチーニが生き、作曲した場所を巡ってみませんか。生家が残るルッカの優美な歴史的な中心地区から、高台にあるチェッレ・ディ・ペスカリア、マッサローザからトッレ・デル・ラーゴまで。プッチーニは休息時間にピアノから離れると、トッレ・デル・ラーゴのマサチュッコリ自然公園で狩りに興じていました。ヴィアレージョでは、車やヨット遊びを楽しみました。魅力溢れるすばらしい滞在をお約束します。20世紀イタリア最高の作曲家と、音楽の感動が、あなたをお待ちしています。

ステファノ・バッツェツリ

ルッカ県知事

プッチーニ・セレブレーション実行委員会より、以下の皆様のご支援に感謝申し上げます

ENEL SPA
POSTE ITALIANE SPA
FONDAZIONE BANCA DEL MONTE DI LUCCA
FONDAZIONE CASSA DI RISPARMIO DI LUCCA
RAI UNO

CASA RICORDI
ISTITUTO POLIGRAFICO E
ZECCA DELLO STATO SPA
RAI TRADE
RAI FICTION

また、以下の皆様のご協力に感謝致します。

*Fondazione Festival Pucciniano
Teatro del Giglio di Lucca
Teatro alla Scala di Milano
Teatro dell'Opera di Roma
Filarmonica della Scala
Coro Filarmonico della Scala
Istituto Musicale Luigi Boccherini di Lucca*

*Biblioteca Statale di Lucca
Centro Studi Giacomo Puccini
Fondazione Simonetta Puccini
Fondazione Giacomo Puccini
Istituto di Studi Pucciniani
Associazione Amici delle Case di Giacomo Puccini
Maestro Riccardo Chailly*

2007年5月20日現在

2008年プログラム

ジャコモ・プッチーニ 1858-2008

わが故郷の甘い郷愁に浸れば

2008年4月-9月

生地ルッカからペスカリアを経、プッチーニが居を構え今も眠るトッレ・デル・ラーゴ、そしてヴィアレージョまで、プッチーニとゆかりのある土地全体を巻き込み、巨匠と故郷の深いつながりを求めてその軌跡を辿ります。

- ・ルッカ: プッチーニとルッカ
- ・チェッレ・デイ・プッチーニ(ペスカリア): プッチーニ家、その家系史
- ・ヴィアレージョ: プッチーニ、音楽、芸術、そして同郷の芸術家たち
- ・トッレ・デル・ラーゴ - ヴィッラ・プッチーニ博物館: ジャコモ・プッチーニとトッレ・デル・ラーゴ

監修: アミーチ・デッレ・カーゼ・デイ・ジャコモ・プッチーニ協会、世界ルッカ人協会、リコルディ社、ジャコモ・プッチーニ研究センター、ルッカ市、ペスカリア市、ヴィアレージョ市、プッチーニ・フェスティバル財団、ジャコモ・プッチーニ財団、シモネッタ・プッチーニ財団、プッチーニ研究所、ルッカ県、ルッカ市ジリオ劇場

展覧会

ジャコモ・プッチーニの20世紀

ジャコモ・プッチーニに関する国際会議

ルッカ、トッレ・デル・ラーゴ - ミラノ - ニューヨーク

3部構成で、研究の現状と今後の展望を検討します。

監修: ジャコモ・プッチーニ研究センター、プッチーニ・フェスティバル財団、ジャコモ・プッチーニ財団

会議

劇場でプッチーニと出会う

祝賀の年に上演される、プッチーニのオペラ

ペトルツェッリ・バーリ劇場 - バーリ

蝶々夫人

指揮: ジャンパオロ・ビサンティ

演出: ダニエーレ・アバド

出演: ズヴェトラ・ヴァッシレーヴァ、ジョゼフ・カレーヤ、ガブリエーレ・ヴィヴィアーニ

2008年 2月13・15・17日

バーリ市ピッチンニ劇場

info: www.fondazioneiricabari.it

カルロ・フェリーチェ劇場 - ジェノヴァ

マノン・レスコー

指揮: リッカルド・フリッツァ

演出: グラハム・ヴィック

舞台美術: グリンドボーン・フェスティバル

出演: ミカエラ・カロージ、ジュゼッペ・ジパリ、ガブリエーレ・ヴィヴィアーニ

2008年 1月10・12・13・15・17・18・20日

ラ・ボエーム

指揮: ダニエル・オーレン

出演: クリスティーナ・ガッラルド・ドマス、アインホア・アルテタ、ジョルジョ・カオドゥー

口、ヴィート・プリアンテ

2008年 11月22・23・25・26・27・29・30、12月2日

info: www.carlofelice.it

劇場

劇場

ジリオ劇場ールッカ

三部作 - 150周年を待って
2007年11月

ラ・ボエーム
2008年1月

つばめ
舞台美術・衣装: ナール
ブッチーニ・フェスティバル提供
2008年10月

西部の娘
2008年11月

info: www.teatrodelgiglio.it

古代ローマ円形劇場ーマチェラータ

マノン・レスコー
2008年7月ー8月
円形劇場オペラフェスティバル2008

info: www.sferisterio.it

スカラ座ーミラノ

三部作
指揮: リッカルド・シャイリー
2008年3月ー4月

ラ・ボエーム
指揮: グスターヴォ・ドゥダメル
舞台美術: フランコ・ゼツフィレッリ
2008年7月

info: www.teatroallascala.org

サン・カルロ劇場ーナポリ

トゥーランドット
指揮: ピンチャス・スタインバーク
演出・舞台美術: デヴィッド・ホックニー
衣装: ジャン・フォルコナー
2008年6月20・21・22・24・25・26・28日

info: www.teatrosancarlo.it

スカラ座ーローマ

トスカ
2008年1月14日 オープニング
2008年1月16・17・18・19・20・22・23日 2008年4月22・23・24・26・27日 再演

西部の娘
2008年4月8日ー15日(7回)

蝶々夫人
2008年7月27日ー8月3日(5回) カラカラ浴場

info: www.operaroma.it

2008年プログラム

劇場

プッチーニ・フェスティバル財団 トッレ・デル・ラーゴ・プッチーニ
第54回 プッチーニフェスティバル

トゥーランドット

新作

演出: マウリツィオ・スカパッロ

舞台美術・衣装: フランカ・スクワルチャピーノ

2008年 7月11・13・19・25日、8月3・10日

トスカ

演出: マリオ・コッラーディ

舞台美術・衣装: イゴル・ミトライ

2008年 7月12・18・27日、8月8日

蝶々夫人

演出: ステファノ・ヴィツィオーリ

舞台美術・衣装: ウーゴ・ネスポロ

2008年 7月20・26日、8月2・17・23日

エドガー

新作

2008年 8月9・16日

info: www.puccinifestival.it

G・ヴェルディ劇場 トリエステ

つばめ

2008年 6月4・5・6・7・8・10・11日

info: www.teatroverdi-trieste.com

フェニーチェ劇場 ヴェネツィア

info: www.teatrolafenice.it

劇場プログラムは現在、プロモーション企画

《ウナ・フィネストラ・スル・2008 (2008年への窓)》に組み込まれており、変更があり得ます。

プッチーニ・コンサート

コンサート

ジャコモ・プッチーニ: 生誕150周年を記念する盛りだくさんのプログラム

ジャコモ・プッチーニ、第4幕 モダニズム的惑い

実行委員会がお届けするコンサート4部の締めくくりとなる「ジャコモ・プッチーニ
第4幕」は2ヶ所での公演を予定しています。

2008年度のコンサートでは、「三部作」(1918年)から「トゥーランドット」(1926年)までの巨匠の晩年を辿り、「トスカ」のローマから、プッチーニが生活し今も眠るトッレ・デル・ラーゴの湖畔までみなさんをお連れします。

スカラ座交響楽団 スカラ座合唱団 指揮 リッカルド・シャイリー

トッレ・デル・ラーゴ・プッチーニ — 新野外劇場こけら落とし

ローマ — アウディトリウム

コンサート

2008年にはまた、各劇場の協力を得、ジャコモ・プッチーニの出身地各機関—ルッカ周辺、トスカーナ州—の働きかけにより、トスカーナ州主要都市において様々なコンサートが行われることが決定しています(2008年1月—12月)。プッチーニと特に関係の深いルッカ市ジリオ劇場とトッレ・デル・ラーゴのプッチーニ・フェスティバルでは、大規模なコンサートが行われます。

ルッカ

ジリオ劇場

ガラコンサート

150周年を待って

2007年12月22日

グラン・ガラ・オペラ

ジャコモ・プッチーニ フレーム・バイ・フレーム

2008年9月

プッチーニ・フェスティバル財団との共同プロデュース

コンサートイベント

ハッピーバースデー、マエストロ！—プッチーニ・デー

2008年12月22日

プッチーニ・フェスティバル財団との共同プロデュース

ローマ

オペラ座

プッチーニ・コンサート

2008年11月22・23日

トッレ・デル・ラーゴ

プッチーニ・フェスティバル財団

コンサート

サンタ・チェチリア音楽院オーケストラ

2008年7月24日

コンサート

クリーヴランド・オーケストラ

指揮:フランツ・ウェルザー=メスト

2008年8月21日

オペラ・ガラコンサート

クリーヴランド・オーケストラ

ヴェローナ市アリーナ財団共同制作

指揮:アルベルト・ヴェロネージ

アンナ・ネトレブコ、ローランド・ヴィラゾン

2008年9月5日

四部作

ジャコモ・プッチーニ in cd

リコルディ社が、CDボックスセット「ジャコモ・プッチーニ四部作」を制作します。プッチーニ・セレブレーション実行委員会が企画したコンサートの、マエストロ、リッカルド・シャイリーが指揮するスカラ座交響楽団・スカラ座合唱団による見事な演奏を収録。実行委員会の、その誕生から祝賀年に至る活動の総決算である4つのコンサートをひとつにまとめたコレクターズ・アイテム。青年期の作品から未完の「トゥーランドット」まで、ジャコモ・プッチーニのキャリアの中でも最も魅力的な作品を集めます。

2008年プログラム

ジャコモ・プッチーニ第1幕 ルッカ 聖フレディアーノ大聖堂 2005年
ジャコモ・プッチーニ第2幕 トッレ・デル・ラーゴ・プッチーニ 野外大劇場 2006年
ジャコモ・プッチーニ第3幕 ミラノ スカラ座 2007年
ジャコモ・プッチーニ第4幕 トッレ・デル・ラーゴ - ローマ 2008年

スカラ座交響楽団 スカラ座合唱団 指揮 リッカルド・シャイリー

記念切手・記念硬貨

実行委員会は、ジャコモ・プッチーニ生誕150周年記念切手・記念硬貨を発行します。イタリア郵便局と造幣局の協力により、150回目の誕生日を迎える年にプッチーニは、世界におけるイタリア文化とオペラの象徴となります。

記念切手 & 硬貨

出版企画

この祝賀年に、講演会やプレゼンテーションも含め、プッチーニに捧げる出版物も数多く予定されています。ジャコモ・プッチーニ研究センター監修の全国版企画の一部である、「書簡集」シリーズ第1巻と、「*Livrets de mises en scène*」が刊行されます。また、世界で最も有名なカメラマンベスト7に入り、南米から中東、芸術から炭鉱労働者までをカバーする著名な報道家でもあるヨーロッパでも有数の写真家ロマーノ・カニョーニが、プッチーニ・セレブレーション実行委員会制作の写真集「プッチーニ」を担当します。マエストロの私生活に焦点を当て、彼の美術品、自筆の文書を通じて探るプッチーニの内面や、邸宅内の隠れた場所、キャリアや生活面でプッチーニが接した文化や場所に触れます。プッチーニのイタリアを紹介し、彼の人生のエッセンスが詰まったカルチャー旅行へと、写真や視覚から得る感動を通じて、皆さんをヴァーチャル・ツアーに誘います。

文化省のプッチーニ基金とルッカ国立図書館の協力を得て、プッチーニ・セレブレーション実行委員会が監修する出版企画です。マリア・パチーニ・ファッツィ出版社。2008年、イタリア語 - 英語

出版物

ビデオ・テレビ番組制作

テレビ番組(フィクション)

脚本とプロデュースにおいてアメリカのHBOとの共同制作となるRAI FIC-TIONの特別記念番組は、2008年に放映されます。番組名は「プッチーニ」です。

プッチーニゆかりの場所に関する映画

ウーゴ・ネスポロのアイデアが形となったこの映画は、プッチーニゆかりの場所に捧げられており、彼自身が監督を務めます。ネスポロは、イタリアの芸術をテーマにし国際的にも注目を集めた「プロジェクト・イタリアーナ」というチネチッタが制作し、ジャンカルロ・ジャンニーニがイメージキャラクターを務めた映画の作家でもあります。2008年は、そのゆかりの場所と作品を通して、プッチーニの芸術をテーマにした作品を撮ります。

ハイビジョンテレビ番組

2008年に始まり2013年まで続く「トゥット・プッチーニ(プッチーニの全て)」は、Unitelとプッチーニ・フェスティバル財団共同制作のプロジェクトです。トッレ・デル・ラーゴ・プッチーニの新野外劇場で上演されるプッチーニ作品を録画し、HDテクノロジーと、多重録音・最新技術を駆使した音声を使って編集します。この世界初の高技術ハイビジョン番組はまた、ハイレベルのプッチーニ作品コレクションともなります。

トゥット・プッチーニ, 2008, エドガー

ビデオ&テレビ

プッチーニ・セレブレーション実行委員会登録団体

文化省、外務省、文部省、大学・研究省、経済省、改革省、トスカーナ州、ミラノ市、ルッカ市、ヴィアレージョ市、ペスカリア市、マッサーローザ市、閣議事務局、文化省演劇局、文化省文書局、文化省研究・開発局、文化省文化財・景観局、文部省教育局、閣議観光開発局、外務省文化協力促進局、文部省教育国際部、文化省文書財部、文化省資料事務局、文化省歴史文化財事務局、文化省スポーツ局、トスカーナ州文化財・景観局、RAI事務局、リコルディ社、ミラノ市スカラ座財団、ミラノ市スカラ座、ローマ市オペラ座、ルッカ国立図書館、ルッカ国立文書館、サンタ・チェチリア国立音楽院、プッチーニ・フェスティバル財団、ルッカ市ジリオ劇場、ミラノ市ジュゼッペ・ヴェルディ音楽学校、ルッカ市ルイーゲ・ボッケリーニ音楽学校、プッチーニ研究所、ルッカ科学・文学アカデミー、ジャコモ・プッチーニ研究センター、ジャコモ・プッチーニ・チッタ・デラ・ムジカ学術委員会、リーチャ・エ・カルロ・ラッギアンティ芸術研究財団、ジャコモ・プッチーニ財団、世界ルッカ人協会、ルッカ県実業協会、ルッカ県商工会議所、ルッカ貯蓄銀行財団、モンテ・デル・ルッカ銀行財団。 [D.M. 8.04.04]